

尾原ダム・さくらおろち湖まつり ダムサミット、コスモス祭開催

尾原ダム・さくらおろち湖まつりとコスモス祭が10月13日開催され、両会場とも多くの人出でにぎわいました。尾原ダム（雲南市・奥出雲町）であった尾原ダム・さくらおろち湖まつりでは、ダムの堤体見学会や、斐伊川水系の治水事業を紹介するパネル展示があり、来場者がダムの仕組みや治水について理解を深めました。また同会場では、地域振興へのダム活用をテーマにダムサミットも開かれました。中国地方のダム関係者、尾原ダム周辺でまちづくりなどに取り組む団体の代表が意見を交わし、集客につながる放流、ライトアップ、ダムの形を模したダムカレーの提供、ダムの特徴を紹介したダムカードの活用など、さまざまなアイデアが話し合われました。

志津見ダム（飯南町）であったコスモス祭では、ダム湖の巡視船に乗ったり、豪雨を体験できるコーナーが設けられ、人気を集めていました。



ダムサミット

この日は、松江市の大橋川沿川の95名の方々が尾原ダム、志津見ダムを視察しました。管理支所やダムの見学を行うとともに、尾原ダム・さくらおろち湖まつり、コスモス祭にも参加し、上流の方々と交流を深めました。



コスモス祭



松江からの視察

来場者の声

尾原ダム・さくらおろち湖まつり

出雲市立長浜小学校5年生
藤江 光太 さん(10)

ダムの内部を見学しましたが、想像よりも大きかったです。中にエレベーターがあったり、放流する時に、水温を調節して流したりするのを知り、驚きました。記念に尾原ダムのダムカードをもらいました。他のダムカードもぜひ集めてみたいです。

来場者の声

ダムサミット

雲南市木次町
高橋 徹 さん(76)

ダムが好きで、旅先でダムを見つければ、寄って写真を撮ります。新聞でダムサミットを知り、参加しました。県外のダムの取り組みを聞くことができ、非常に有意義でした。特に、ダムの形を模したカレーで観光客を呼ぶ取り組みは、初めて聞き、面白かったです。地域振興に向けて、ダムの生かし方はたくさんあると思います。官民一体となって取り組む必要性を感じました。

大橋川コミュニティセンター

【休館日】土日祝祭日・年末年始 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】なし
〒690-0887 松江市殿町383番地 山陰中央ビル1階
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

E-mail : info@comisen.jp
ホームページ : <http://www.comisen.jp/>

大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。



大橋川通信

大橋川改修情報紙

ダム、放水路ができて、水害から松江市を守るには、大橋川改修が必要です



みことくん

斐伊川放水路の運用を開始しました

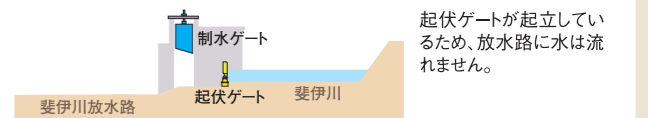
斐伊川流域では、秋雨前線により9月3日朝から4日昼頃までの長時間にわたって雨が降り続け、総雨量が斐伊川流域平均で147mmを記録しました。この雨による出水により、斐伊川上島地点（出雲市上島町）の最大流量は毎秒約1,250m³となりました。なお、最近の出水では、流域で土砂崩れなどの被害があった平成23年5月出水（上島地点の最大流量が毎秒約1,240m³）とほぼ同じ規模で、斐伊川では2~3年に1回程度経験する出水でした。

今回の出水を受け、出雲河川事務所では、斐伊川放水路（出雲市）を今年6月の竣工後初めて運用しました。上流の尾原ダム（雲南市・奥出雲町）では最大約100万m³の水を貯留するとともに、中流の斐伊川放水路では最大流量の毎秒約1,250m³のうち毎秒約550m³を放水路へ分流しました。尾原ダムと斐伊川放水路の運用により、斐伊川本川下流の出雲市灘分町の水位を約80cm、宍道湖湖心の水位を約20cm低減しました。

この水位低減効果によって、松江市での治水安全度は向上しますが、大橋川改修で計画した宍道湖の水位を下げるための拡幅や、もともと堤防がない箇所への築堤は依然として必要であるため、今後も改修の早期完成に向けて、市民のみなさんのご意見を伺いながら、着実に事業を進めてまいります。

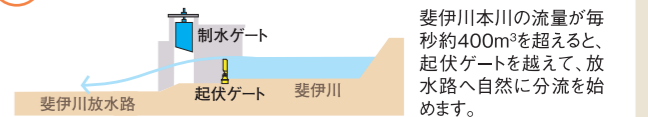
斐伊川放水路の分流の仕組み

通常は…放水路に水は流れ込みません



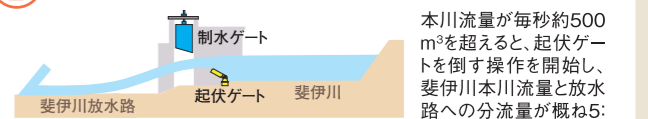
起伏ゲートが起立しているため、放水路に水は流れません。

Step 1 大雨が降ると…起伏ゲートを自然に越えた水が放水路へ流れます



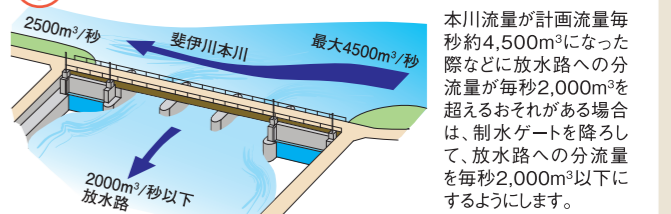
斐伊川本川の流量が毎秒約400m³を超えると、起伏ゲートを越えて、放水路へ自然に分流を始めます。

Step 2 さらに大雨が降り続けると…起伏ゲートを倒し、放水路へ水を流します



本川流量が毎秒約500m³を超えると、起伏ゲートを倒す操作を開始し、斐伊川本川流量と放水路への分流量が概ね5:4になります。

Step 3 計画規模の雨が降った場合…制水ゲートを降ろして放水路へ流れる水を制御します



本川流量が計画流量毎秒約4,500m³になった際などに放水路への分流量が毎秒2,000m³を超えるおそれがある場合は、制水ゲートを降ろして、放水路への分流量を毎秒2,000m³以下にします。

大橋川改修 現在の状況



景観や周辺環境に
配慮しながら
工事を進めています

ひめちゃん

1 城東地区(追子・向島)

平成18年7月の豪雨で浸水被害が大きかった追子地区では、平成23年度から築堤護岸工事を行っており、引き続き景観や環境に配慮しながら、工事を進めています。

今年度は、向島地区で、松江地方合同庁舎と山陰中央テレビ社屋建設予定地の南側の護岸について、今年7月に開催したワークショップで市民のみなさんからいただいた意見を反映させたデザインで護岸整備を進めていきます。



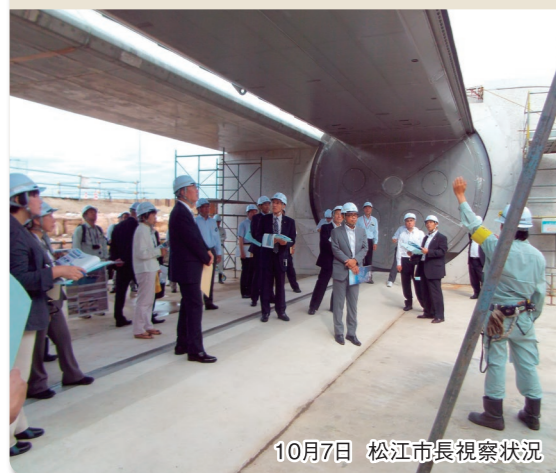
ワークショップ

築堤護岸工事状況
(追子地区)

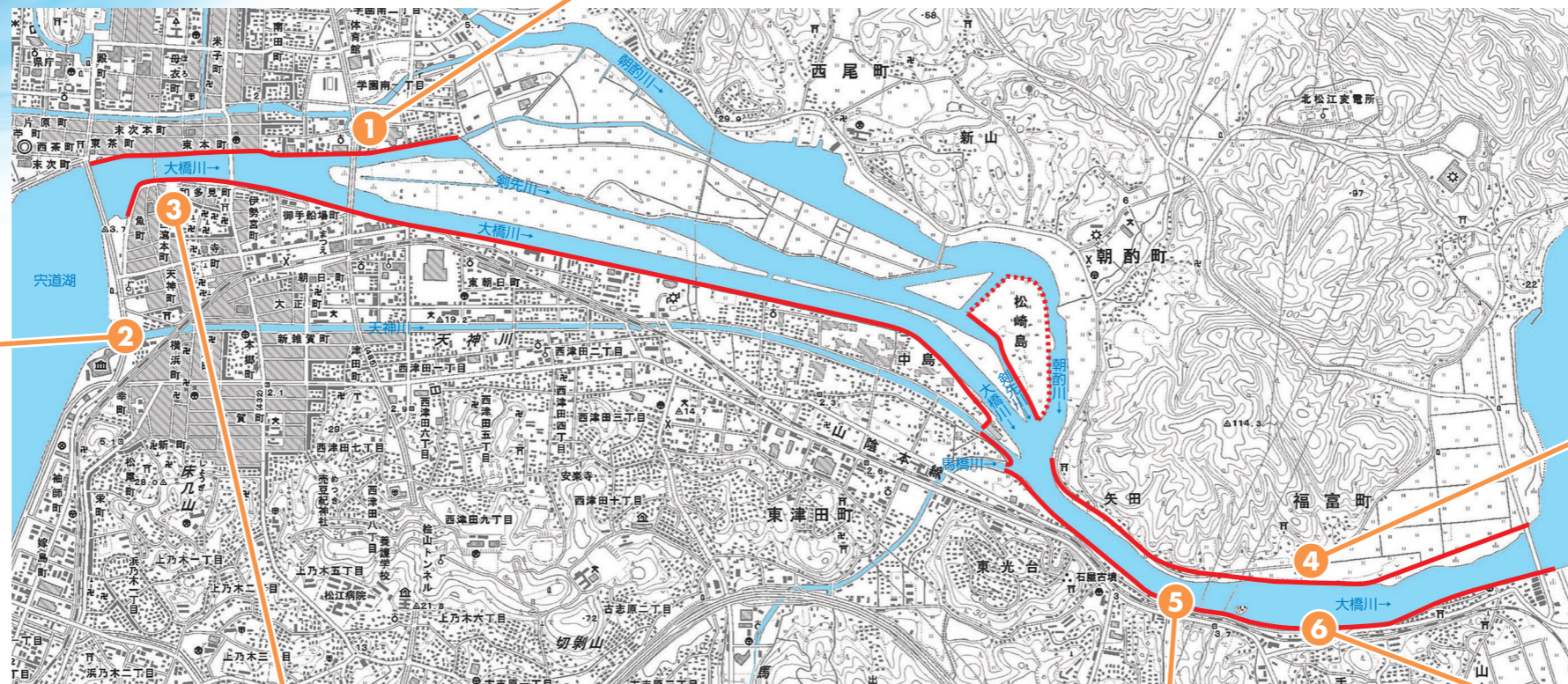
護岸の完成イメージ
(向島地区)

2 天神川水門 (松江市袖師町)

平成24年度に引き続き、景観や周辺環境に配慮した水門工事を進めています。



10月7日 松江市長視察状況



4 朝酌矢田・ 福富町

地元の方と設計協議を重ね、用地買収を進めています。

福富町で埋蔵文化財の試掘調査を行います。



設計協議

3 白潟・朝日町

白潟の大橋川南岸、松江大橋上流からくびき大橋の間については、平成24年度に地元の方々との協議を重ねてきました。

(<http://www1.city.matsue.shimane.jp/matidukuri/oohashigawa/oohashigawa.html>) 参照

今後も、「水辺を活かしたまちづくり」について市民の皆さんと意見を交わしながら考えていきます。なお、道路については関係機関との交差点の協議や都市計画道路の計画変更手続きなど、港湾についても関係機関との協議を進めています。



意見交換会の様子



計画イメージ

5 竹矢矢田

平成23年度の事前調査で明らかとなった灘遺跡の本発掘調査が終了しました。昨年度の官道下遺跡に引続き、下流拡幅部工事に先立つ調査として6月から実施していました。江戸時代後期の護岸施設や奈良～平安時代の遺物などが見つかりました。(島根県埋蔵文化財調査センター寄稿)



灘遺跡で見つかった
旧大橋川川床と護岸施設の見学会

6 井手・馬潟

下流拡幅部の整備に先立ち、築堤・護岸の工事を進めています。



築堤・護岸の工事状況